

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成31年1月24日 (2019.1.24)

【公表番号】特表2018-511234(P2018-511234A)

【公表日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-015

【出願番号】特願2017-546593(P2017-546593)

【国際特許分類】

H 0 4 N 19/85 (2014.01)

H 0 4 N 19/13 (2014.01)

H 0 4 N 19/176 (2014.01)

H 0 4 N 19/136 (2014.01)

H 0 4 N 19/159 (2014.01)

H 0 4 N 19/52 (2014.01)

【 F I 】

H 0 4 N 19/85

H 0 4 N 19/13

H 0 4 N 19/176

H 0 4 N 19/136

H 0 4 N 19/159

H 0 4 N 19/52

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月10日 (2018.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオデータを空間的に符号化する方法であって、

メモリにデータ構造を記憶することと、前記データ構造が第 1 の複数のデータ要素を有し、外周を画定し、前記第 1 の複数のデータ要素がピクチャの第 1 の部分の第 2 の複数のデータ要素に対応して配置され、前記データ構造が、ピクチャの前記第 1 の部分のための最小予測単位 (P U) の全てに関係するデータを更に含む、

前記メモリ中の前記データ構造のサイズを増加することと、前記増加することは、前記第 1 の複数のデータ要素の前記外周全体に沿って複数の拡張単位を追加することを備え、前記複数の拡張単位の各拡張単位が、ピクチャの前記第 1 の部分の最小データ要素に関係するデータを有する、

前記複数の拡張単位の各拡張単位と前記第 1 の複数のデータ要素とをデフォルト値に設定することと、

前記データ構造に基づいてピクチャの前記第 1 の部分を符号化することとを備える、方法。

【請求項 2】

ピクチャの前記第 1 の部分の現在 C U の C U 深度と少なくとも 1 つの隣接 C U の C U 深度とに基づいて、前記現在 C U のためのスプリットフラグのためのコンテキスト適応型バイナリ算術コード化 (C A B A C) コンテキストを決定することを更に備え、前記現在 C U が前記第 2 の複数のデータ要素のうちのデータ要素であり、前記少なくとも 1 つの隣接

C Uが前記第1の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

少なくとも1つの隣接コード化単位(C U)がスキップモードに設定されるかどうかに基づいて、ピクチャの前記第1の部分の現在C Uのためのスキップフラグのためのコンテキスト適応型バイナリ算術コード化(C A B A C)コンテキストを決定することを更に備え、前記現在C Uが前記第2の複数のデータ要素のうちのデータ要素であり、前記少なくとも1つの隣接C Uが前記第1の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

ピクチャの前記第1の部分の現在P Uの隣接P Uがインターモード予測に設定されると決定することと、

前記隣接P Uに基づいて前記現在P Uのためのマージ候補を決定することと、前記隣接P Uが前記第1の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、を更に備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

ピクチャの前記第1の部分の現在P Uの隣接P Uがインターモード予測に設定されると決定することと、

前記隣接P Uに基づいて前記現在P Uの動き予測子を決定することと、前記隣接P Uが前記第1の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、を更に備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

隣接P Uに基づいて、ピクチャの前記第1の部分の現在P Uのためのイントラ予測モードを予測することを更に備え、前記隣接P Uが前記第1の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

更新されたデータ構造を形成するためにピクチャの第2の部分のサイズ及び形状に基づいて前記データ構造の前記複数の拡張単位を更新することと、

前記更新されたデータ構造に基づいてピクチャの前記第2の部分の符号化することとを更に備える、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記データ構造に基づいてピクチャの前記第1の部分を符号化することが、ピクチャの前記第1の部分を符号化するために空間予測のための参照として前記複数の拡張単位を使用することを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

ピクチャの前記第1の部分の前記最小データ要素が、予測単位又はコード化単位を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

ビデオデータを空間的に符号化するための装置であって、

第1の複数のデータ要素を有し、外周を画定するデータ構造を記憶するように構成されたメモリと、前記第1の複数のデータ要素はピクチャの第1の部分の第2の複数のデータ要素に対応して配置され、前記データ構造がピクチャの前記第1の部分のための最小予測単位(P U)の全てに関係するデータを更に含む、

前記メモリに動作可能に結合され、

前記メモリ中の前記データ構造のサイズを増加することと、前記増加することは、前記第1の複数のデータ要素の前記外周全体に沿って複数の拡張単位を追加することを備え、前記複数の拡張単位の各拡張単位が、ピクチャの前記第1の部分の最小データ要素に関係するデータを有する、

前記複数の拡張単位の各拡張単位と前記第1の複数のデータ要素とをデフォルト値に設定することと、

前記データ構造に基づいてピクチャの前記第1の部分を符号化することを行うように

構成されたプロセッサとを備える、装置。

【請求項 1 1】

ピクチャの前記第 1 の部分の現在 C U と少なくとも 1 つの隣接 C U の C U 深度とに基づいて、スプリットフラグのためのコンテキスト適応型バイナリ算術コード化 (C A B A C) コンテキストを決定することと、前記現在 C U が前記第 2 の複数のデータ要素のうちのデータ要素であり、前記少なくとも 1 つの隣接 C U が前記第 1 の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、

前記少なくとも 1 つの隣接 C U がスキップモードに設定されるかどうかに基づいて、ピクチャの前記第 1 の部分の前記現在 C U のためのスキップフラグのための C A B A C コンテキストを決定することと、

ピクチャの前記第 1 の部分の現在 P U の隣接 P U がインターモード予測に設定されると決定することと、前記隣接 P U に基づいて前記現在 P U のためのマージ候補を決定することと、前記隣接 P U が前記第 1 の複数のデータ要素のうちのデータ要素である、

前記現在 P U の前記隣接 P U がインターモード予測に設定されると決定することと、前記隣接 P U に基づいて前記現在 P U の動き予測子を決定することと、

前記隣接 P U に基づいて、ピクチャの前記第 1 の部分の前記現在 P U のためのイントラ予測モードを予測することとのうちの少なくとも 1 つを完了するように更に構成された前記プロセッサ、請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 1 2】

前記プロセッサが、

更新されたデータ構造を形成するためにピクチャの第 2 の部分のサイズ及び形状に基づいて前記データ構造の前記複数の拡張単位を更新することと、

前記更新されたデータ構造に基づいてピクチャの前記第 2 の部分を符号化することとを行うように更に構成された、請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 1 3】

前記プロセッサが、ピクチャの前記第 1 の部分を符号化するために空間予測のための前記複数の拡張単位を参照するように更に構成された、請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記プロセッサが、前記デフォルト値を、

コード化単位深度が 0 に等しい、

予測モードがイントラ予測に設定される、及び

イントラ予測モードが D C 予測に設定される、に設定するように更に構成された、請求項 1 0 に記載の装置。

【請求項 1 5】

ピクチャの前記第 1 の部分が、スライス又はタイルを備える、請求項 1 0 に記載の装置

。